

# 命とクルマ

のこ

遺された親からの  
メッセージ

前田敏章



前田千尋(ちひろ)

1978. 5.12. 誕生

1995.10.25. 帰天

# 18年前に子どもを「交通犯罪」で奪われた親の話？

過去のことなのに...

「過ぎ去った」事でなく、  
今も、これからも、家族を  
奪われた無念の現実

悲しみ・落ち込みは？  
生活は？

悲嘆と絶望で、生きる力が  
なくなる

加害者への憎しみは？

当事者である娘の無念を  
想うと、決して許せない

講話をするのは何故？

娘の犠牲を無にしたくない  
被害根絶のため



交通安全講話

(講師:細野雅弘さん)

千歳高校定時制

2008年5月23日

# 講話を聞いて

今日は細野さんのお話を聞いて、すごく勉強になりました。この先、自分が免許をとって、車、二輪を運転する時は、思いやりの心と、安全を第一に考え、運転したいと思います。

今、自分が生きているのは、先祖がいたから、自分がいる。

これから“命”を大切に、自分だけではなく、自分を支えてくれる人、そうでない人の命も大切に生きていきたいです。

(2年 坂田麻美)

## 2人乗りバイク 女子高生が死亡

ガードロープ衝突

【支笏湖畔】二十四

日午後十時五十分ごろ、千歳市支笏湖温泉無番地の国道で、北広島市の鉄筋工の少年（二七）と、千歳市の高校一年生坂田麻美さん（一七）が乗ったオートバイがガードロープに衝突。二人は湖畔の消波

ブロック上に投げ出され、坂田さんは間もなく死亡した。少年も全身を強く打って重傷。

千歳署によると、現場は支笏湖温泉街から約一キロ離れた支笏湖沿いの片側一車線のカーブ。同署は、オートバイが曲がりきれずに衝突したとみて詳しく調べている。

# 質問 クルマのイメージは？

- ① 安全で、便利な物
- ② 速くて、かっこいい物
- ③ 便利だが、人を死傷させること  
もあり、危険な物

伝えたいこと・・・生きたくても生きられな  
かった多くの犠牲を無にせず

## 「命の尊厳」を

(そんげん=とうとく、おごそかで、おかしがたいこと)

### ① 他人と自分の命を大切に

- ひとを傷つけず、自分も安全な行動を
- 子を思う親の気持ちと家族について  
考えて欲しい

### ② クルマの危険性と「クルマ社会」の 問題について深く考えて欲しい

しかし、次のような声も

「命を大切に」とか「交通安全」  
とか・・・

良く言われるし、もう分かっていますよ。

# 私たちが学ぶ目的は

自己実現  
どう生きるか  
心豊かな生活  
住みよい社会を作る  
...

生命

生命

腹の底から  
「わかる」こと

← 「実体験」から

しかし・・・

体験してからでは遅い

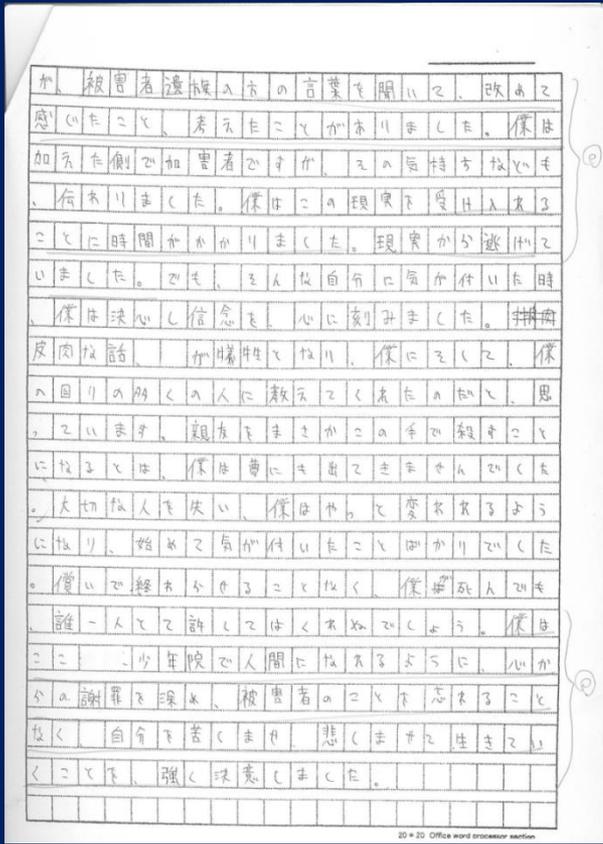
取り返しのつかないことがある



被害者遺族の方の言葉を聞いて、改めて改めて感じたこと、考えたことがありました。...

僕はこの現実を受け入れることに時間がかかりました。現実から逃げていました。...

...大切な人を失い、僕はやっと変われるようになり、初めて気が付いたことばかりでした。



僕が死んでも誰一人として許してくれないでしょう。

僕はここ〇〇少年院で、人間になれるように、心からの謝罪を深め、被害者の事を忘れることなく、自分を苦しませ、悲しませて生きていくことを、強く決意しました。

絶たれた生命、傷ついた身体  
や心は、もう元に戻らない

体験してからでは遅いことがある



どうするか

自分に置きかえて、想像力を  
働かせる＝学ぶ

## ■ 知性とは、「想像力」

社会的能力に不可欠なもの  
相手の立場に立つ「想像力」  
特に、「生命への共感力」

## ■ 教養とは「知識」ではなく「態度」

いかに生きるべきか、日常の生活を一步でも  
良くしていくために、社会へ働きかける態度や  
行動。そのために必要な社会理解(学び)



控訴審判決を終え、亡くなった3人の遺影を抱えて記者会見に臨む大上哲央さん(右)とかおりさん夫妻  
15日午前10時50分 福岡県弁護士会館 (西日本新聞提供)

# 福岡 3児死亡事故判決

「一審判決を破棄する。被告を懲役二十年に処する」。十五日、福岡市で幼児三人が死亡した飲酒運転事故の控訴審判決で、元市職員の大上被告(三)に厳罰が言い渡された。「私たちの思いが届いた。しっかり刑を受け止めてほしい」。亡くなった三児の両親の大上哲央さん(三)とかおりさん(三)は涙を流した。

# 「しっかり刑を受け止めて」 両親、懲役20年に涙



今林大被告

事故は飲酒運転根絶の世論を高め、道交法改正による罰則引き上げや飲酒運転への同乗罪新設などのきっかけ

判決骨子

2006年8月  
福岡市

飲酒ひき逃げ  
3幼児死亡  
事件



今林受刑囚

# 1995年10月25日

## 千歳では高2

【千歳】二十五日午後五時五十分ごろ、千歳市北信濃七七〇の市道で、千歳市富士四ノ一四、恵庭北高二年の前田千尋さん（一七）が後

ろからきたワゴン車にはねられ、首の骨を折って間もなく死亡した。千歳署は業務上過失傷害の現行犯で、ワゴン車を運転していた同市 ~~市~~ 看護婦 ~~市~~ 容疑者（三）を逮捕した。

同署の調べでは、現場は片側一車線の直線道路で、歩道はなかった。事故当時は雨が降っており、前田さんは学校から帰宅途中だった。

1995年10月25日

長女、千尋(ちひろ、  
高校2年 17歳)は、  
突然私たち家族の前  
から姿を消されまし  
た。



# 加害者と加害車両



1995年10月25日 午後5時50分  
千歳の市道



# 被害の実相

長女の被害は、  
**「通り魔殺人」的被害**

公道で、何のいわれもない  
人に、(娘には)何の過失も  
無いのに、突然後ろからひ  
かれ、命まで奪われた。



[http//「交通死、遺された親の叫び」](#)



同級生のいとこと千尋↑  
8月に撮ったこの写真を見ないま  
ま亡くなった。

子どもを亡くした親は、未来だけでなく過去も失ってしまう。







前田 敏章  
真紀子  
千尋・清香

お姉ちゃんへ

1996年5月12日

お誕生日おめでとう

プレゼント買ってこなくてゴメンネ。

修学旅行でなんか買ってくるから、まってて

またいっしょに買いものに行きたかった。

誕生日のプレゼントも選んでもらいたかった。

でも、清香(さやか)はまだ信じられません。

何日も会っていないだけで、

いつか 帰ってきてくれるような気がするよ。

だから、仏さんを拝（おが）んでも、おきょう  
を聞いても涙はでてこない。

清香はお姉ちゃんが好きなのに、  
なんで泣かないのだろうと思ったりした。  
でも、夜ねる時とか、悲しいことがあったら  
お姉ちゃんにすごく会いたくなって、  
思い出して泣いてしまいます。  
だから、いつまでも清香のこと見守って  
助けてください。

さやか（妹・当時中3）より



事件から3年、姉が迎えられなかった成人式に、姉に代わって振り袖を着た妹と、千尋の愛犬「サム」  
・・・この年、妹は姉の歳を「追い越す」

# 遺された親と家族の苦悶の現状①

## ■ 辛いこと・・・

亡き娘の誕生日・命日、親戚の集まり、  
節目の行事(お正月、こどもの日・GW、お盆、Xマス)

## ■ 失った(使えなくなった)言葉・・・

「おかげさまで」「新年おめでとうございます」  
「希望」「充実」「楽しみ」「生きがい」・・・

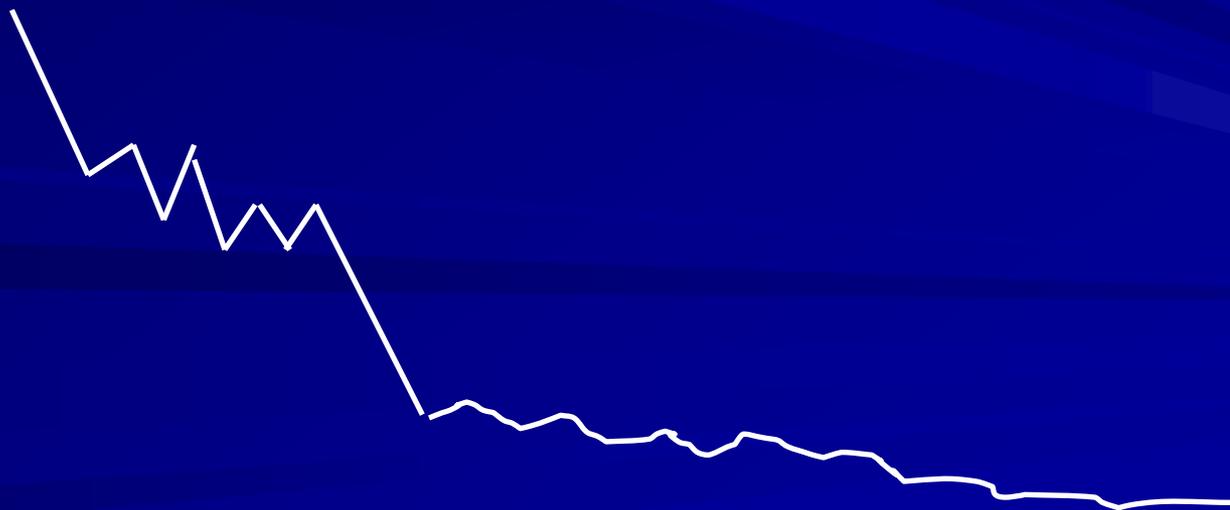
## ■ 出来なくなったこと・・・

昔のアルバム、家族の8ミリやビデオを観られない。  
旅行に出掛けられない。小説を読めず、映画も観られない

## ■ 返答に困る言葉・・・「元気ですか」

## 遺された親と家族の苦悶の現状②

- 悲嘆と憎しみ、絶望と虚無感のなかで疲れ切り、  
抜け殻のようになった自分を隠し、世間の無理解に対し、  
感情を押し殺して表面をつくろい、「普通」に振る舞いな  
がら、楽しい明日や未来は全く見えず・・・  
亡き長女のために、死んではならないから、生きている。



# 亡き娘からの問いかけ

「なぜ私がこんな目にあわなくてはならなかったの？」

「私のこの犠牲は、今の社会で報われているの？」

犠牲をむだにしない



いのちが大切にされる社会を  
交通犯罪(事故)のない社会を

# 聖千尋観音



千歳市北信濃  
(株)ダイヘン  
前

〈碑銘〉  
私の犠牲を無にせず  
子どもや、お年寄りも  
安心して歩ける  
人にやさしい社会を  
創ってください



聖母 淨觀 尊  
石造 像  
昭和 三十四 年  
三月 十一 日  
建立  
大 塚 隆 夫

# 飲酒・ひき逃げの犠牲になった 高石拓那さん(高校1年)



2003年2月12日午前5時過ぎ、江別市野幌  
新聞配達のアルバイト中

# 「逃げ得を許さない」 厳罰化署名を始めた高石拓那君のご両親



# 逃げ得を許さない署名活動

2003年8月以来

全国で

60万人の署名



2007年

飲酒ひき逃げの厳罰化



2013年

逃げ得を許さない法改正



拓那君の同級生も協力  
(2003年8月、野幌駅前)

「私たちは、強く勇気があってこの活動をやっているわけではない」

「息をするために、(署名などの)活動をしないではいけないのです」

高石弘・洋子

飲酒ひき逃げに厳罰を求める遺族関係者  
連絡協議会、共同代表

こんな悲しみ、こんな苦しみは  
私たちが終わりにして欲しい

# 菜摘さん(10歳)

自転車乗車中、トラックにひかれる



1997年7月1日  
白石区



# 竹田響ちゃん(6歳)



下校直後、校門  
前で 前方不注視  
の車にはねられる



2003年7月17日  
白石区北郷

# 土場俊彦くん(小4)



歩道に乗り  
上げてきた  
暴走車に  
ひかれる

2001年  
8月18日  
北広島市



眞下綾香さん  
(11歳)

青信号で横断中、  
暴走右折トラックに  
はねられる

2002年7月19日  
西区発寒



平澤慶祐さん  
(14歳)

青信号で横断中、  
暴走左折トラックに  
はねられる

2003年7月18日  
清田区美しが丘



白石乃郁(のりか)さん

(13歳、中学2年)

犬の散歩中、前方不注意の車に後ろからひかれる

2002年10月4日

恵庭市

# 白倉美紗さん(14歳, 中学3年)



通学途中、  
暴走トラック  
にひかれる

2003年9月1日  
南幌町

「犯罪被害で奪われた命は、寿命でも  
運命でもない」(母親の講話での言葉)



# 知っていますか、交通事故被害の実相



米内隆輔くん  
(当時6歳)

「交通事故から5年半、  
植物状態のわが子に・・・」

HBCTV 2009年1月27日放送

「卒業式で起きた  
小さな奇跡」

同、2009年4月2日放送



# 輪禍を追う

## 交通死減少の陰で

■下■

稚内市の米内隆輔君（13）は7年前に乗用車にはねられ、今も同市内の病院のベッドで眠り続けている。111だった身長は33センチ、体重も17キロ増えて35キロになった。「ひげが生えてきたよね」。母裕美さん（45）が、隆輔君の顔を優しくなでた。父隆俊さん（52）が声変わりもしたかも、どんな声だろう」と続けた。体は成長していくのに、一度も声を聞かせてはくれない。



眠り続ける隆輔君を見つめる隆俊さん（右）と裕美さん。事故後も家族の苦悩は続く

でも「寝たぎりの隆輔と向き合っていることが、どうしようもなくつらくなる時がある」。事故の直後、札幌の大きな病院に搬送していたら、結果は違ったかもしれない。もっと早く検査していたら、学校まで付き添っていたら…。答えの出ない「もし」を繰り返す。

### 実情伝えたい

隆俊さんは1年に2回だけ、札幌へ出掛ける。交通事故被害者の遺族や家族らでつくる「北海道

### 毎日付き添い

隆輔君が事故に遭ったのは小学1年生だった。2003年6月。登校途中、横断歩道上を歩いていたら。稚内市内の病院に搬

### 家族の苦悩

2時間ごとに体を抱えて位置を変え、顔の汗をふき、人工呼吸器の作動を確認する。事故後、稚内

を離れたことはない。隆俊さんも出張のない部署に移り、仕事帰りや週末は病室で過ごす。

「命が助かっただけで、も幸運だった」。死亡交  
「私や妻が年をとった  
たひ、裕美さんは思う。

## 息子の介護将来誰が

「事故が起きたことは新聞で紹介されました。でも、その後の経過は知らない人が多い。交通事故はその時だけでなく、後々まで多くの人を巻き込み続けているのです」

**発信**  
2010

「事故が起きたことは新聞で紹介されま  
す。でも、その後の経過は知らない人が  
多い。交通事故はその時だけでなく、  
後々まで多くの人を巻き込み続けてい  
るのです。」

# 隆輔(りゅうすけ)君の願いは？

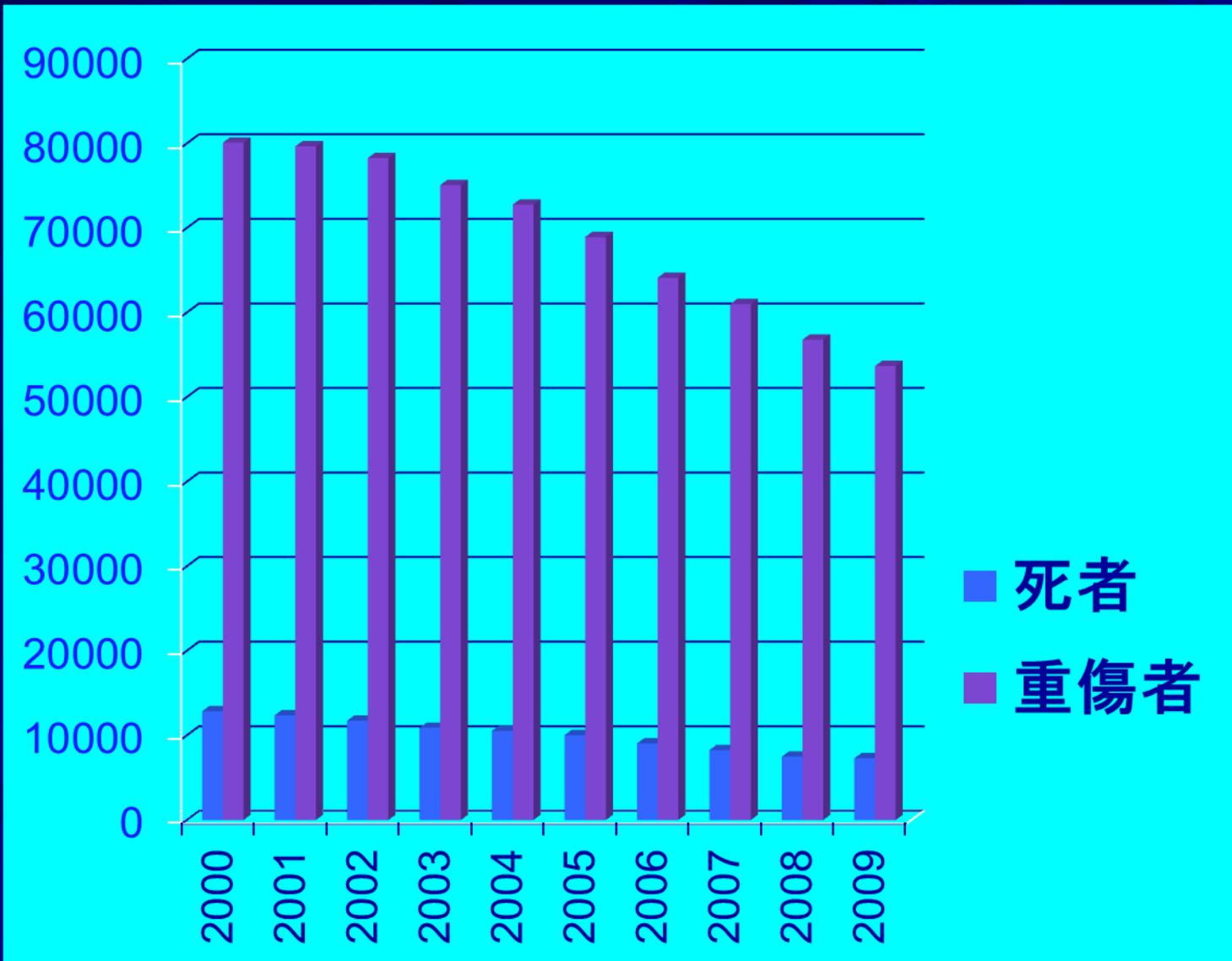
息子はきっと、交通事故のない社会をと願い、それを伝えるために、必死に生きています。

私たちは、それに応えなければと強く思います。

(隆輔君のお父さんの「交通死傷ゼロへの提言・北海道フォーラム」での発言から)

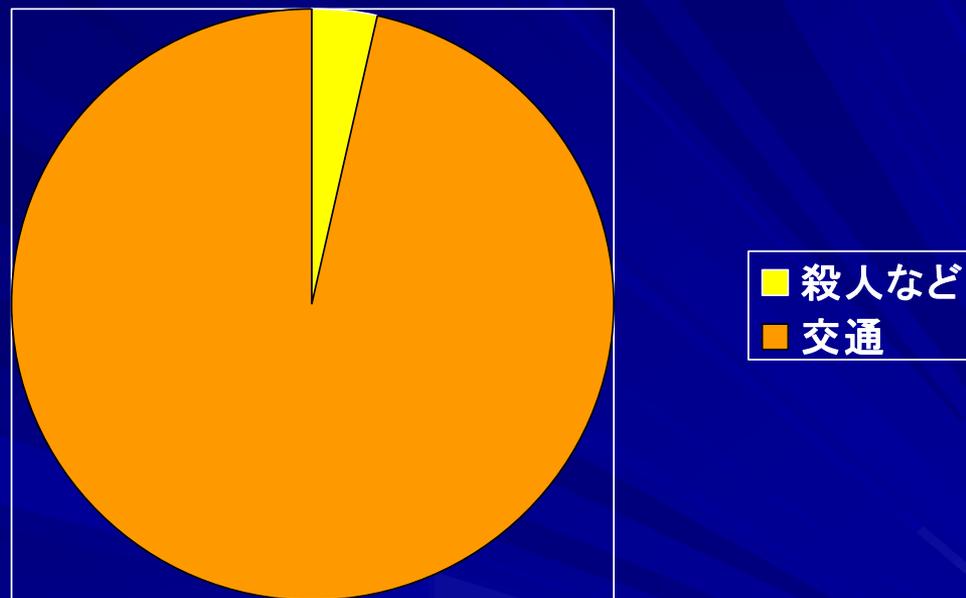


# 死者の背後に膨大な重傷者



問) 日本で1年間におこる殺人や傷害事件の被害数と交通事故の死傷被害数はどちらが多いでしょう。

- (1) 殺人や傷害事件の方が多い
- (2) 交通事故の方が多い
- (3) 同じくらい

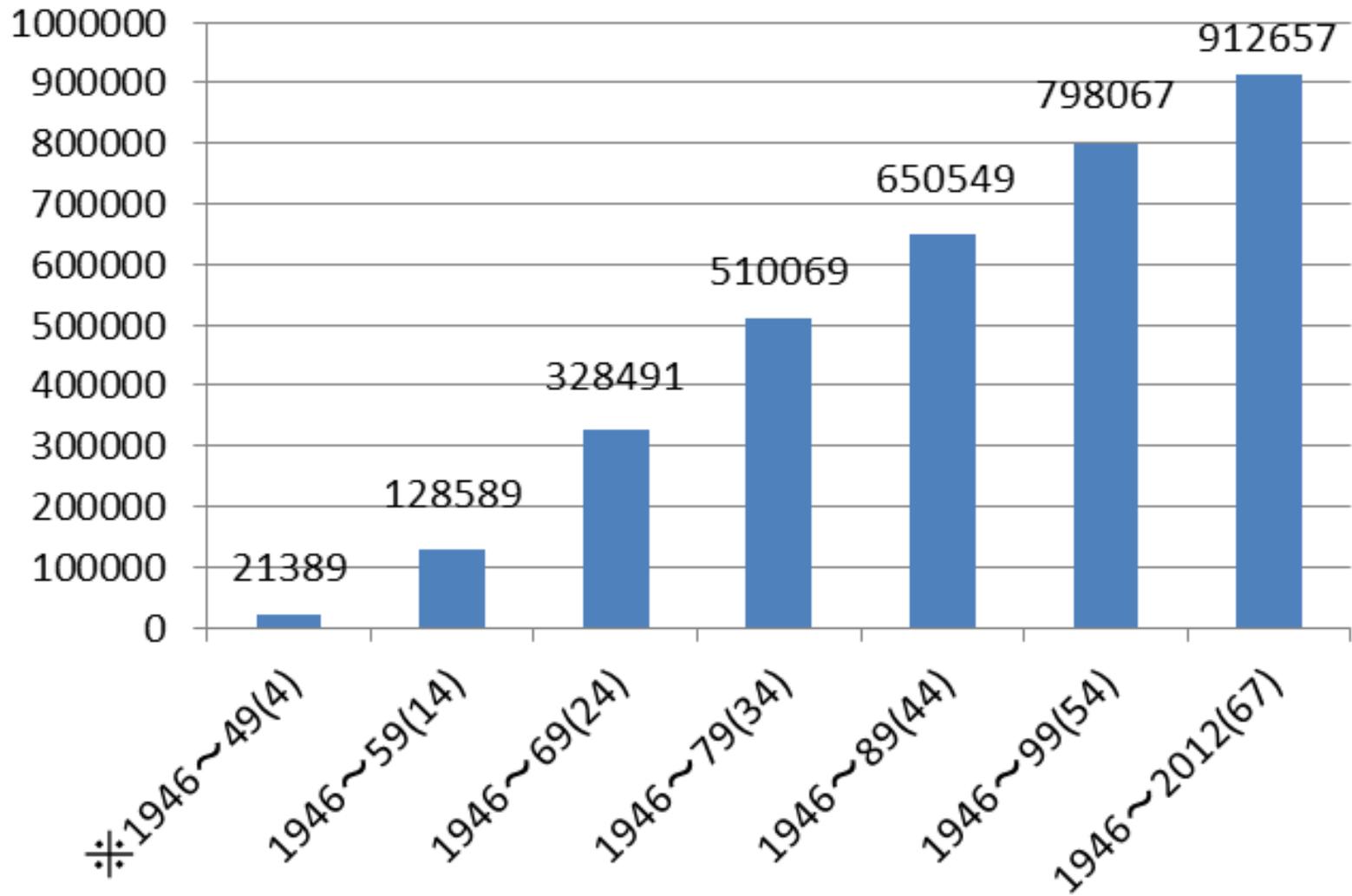


答) (2) 交通死傷は 96%(2012年)

交通死傷総数 = 829,807人(死者:6,414人)

殺人・傷害など = 33,966人 (死者:901人)

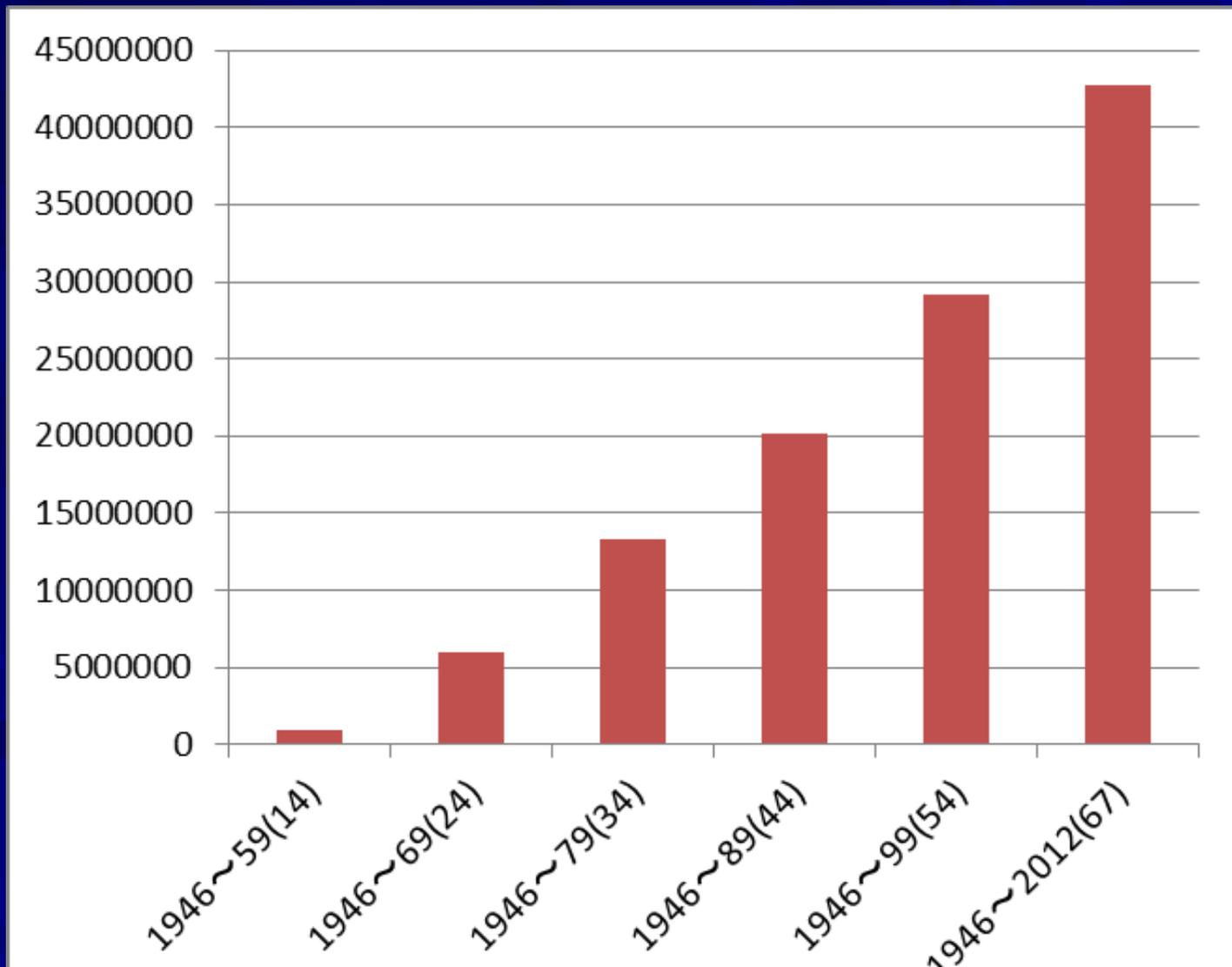
# 戦後日本の累積交通死者数



# 戦後日本の累積交通負傷者数

人口: 1億2729万人中

4,277万人



何故、悲劇はなくならないのか

## 背景にある人命軽視の

### ×「クルマ優先社会」

- × 自動車は、リスクを上回る利便性がある
- × 事故(アクシデント)だから仕方ない  
被害者は(加害者も)運が悪かった
- × 誰もが加害者になるかもしれないから  
加害者の罪は軽く
- × 保険で賠償すればよい(命=お金)

ボクシング

WBCバンタム級世界戦

18日

長谷川穂積 TKO  
(真正) 4回  
53・4分 2分38秒

アルパロ・ペレス  
(ニカラグア)  
53・0分

一瞬の出来事だった。4回、長谷川はペレスが前へ出てきたタイミングを逃さなかった。カウンタリーで左ストレートを打ち抜き、右のフエイントを交えてから再び左ストレート。「練習してきたコンビネーション、

自然に出たパンチだから効いたんだと思う。マットに沈んで動かない挑戦者。レフェリーは試合を止めるしかなかった。過去4試合はすべて2回までにKO。いずれの相手も長谷川の威圧感にのみ込まれ、力を出す前に決着がついた。だからこそ、「今日はボクシングを楽しみたかった。練習したことを試

しなかった。貫いたのはボクサー攻撃。勢いよく前へ出てくる相手の腹を攻め、少しずつ動きを鈍らせるのが狙いだった。「1回KOは交通事故みたいなものだけど、4回なら違う」。練習に練られたKO劇への布石だった。2005年に王座について4年。「本当に充実していたから、年に感じるぐらいの短かった」。一方で、「負けたときのことを考えると怖い」。防衛を重ねることに増すプレッシャー。苦しい減量と向き合いたが迎えた。今日は判定で良かったのか。挑戦者の気持ちで気楽にやりた」と本音をこぼした。



狙いすました左2発

国内ジム世界王者の連続防衛記録

13回	具志堅用高 (Aライトフライ級)
10回	長谷川穂積 (Cバンタム級)
9回	勇利アルパバチャコフ (Cフライ級)
8回	徳山昌守 (Cスーパーフライ級)
7回	新井田豊 (Aミニマム級)
6回	小林弘一 (スーパーフェザー級)
	輪島功一 (スーパーウェルター級)
	渡辺二郎 (Aスーパーフライ級)
	川島野志 (Cスーパーフライ級)

(AはWBA、CはWBC。階級は現在の呼称)

世界ボクシング評議会(WBC)バンタム級タイトル戦12回戦が、神戸・ワールド記念ホールであり、王者の長谷川穂積(29)真正IIが、挑戦者で同級9位のアルパロ・ペレス(27)ニカラグアIIを4回TKOで破り、10連続防衛に成功した。国内ジム所属選手としては、元世界ボクシング協会(WBA)ライトフライ級王者で13連続の具志堅用高に次ぐ2人目の2けた連続防衛。5試合連続のKO防衛も具志堅の6回に続く単独2位の記録となる。日本ジム所属の現役世界王者(暫定含む)は5人のまま。

長谷川、10連続防衛



4回、アルパロ・ペレスを攻める長谷川穂積(左)＝西畑志朗撮影

はせがわ・ほむか 1988年12月16日、兵庫県西宮市出身。元プロボクサーの父の影響で小学生でボクシングを始め、99年にプロデビュー。05年4月、WBCバンタム級タイトル戦でウイラポン(タイ)を判定で破って王座を奪取。以降、年間防衛し続けている。168㎝、左ボクサータイプ、28勝(11KO)、2敗。

「あんなに強いとは」

試合開始から攻撃的な姿勢を貫いた挑戦者のペレスは、2回にはストレートをヒットさせて長谷川の体勢を崩した。だが、4回にカウンタリーを顔面にもろに食らってKO負け。「これまでパンチがそれほど強くないから前に出た。チャンピオン級のパンチがあんなに強いとは思わなかったと肩を落とした。

「1回KOは交通事故みたいなものだけど、4回なら違う」「あんなに強いとは」

# 「イニシャルD」

無免許でドライブテクニックを身につけた主人公の高校生が、公道で高速レースを繰り返す

映画にもなり、ヒーロー扱い。

若者をクルマ優先社会の犠牲にしてはならない





山下 博之さん  
(19歳)

2003年4月23日  
深川市で危険運  
転の犠牲に

友人は「イニシャルD」にあこがれ、  
100キロ以上の高速走行。カーブを曲  
がりきれず、助手席の山下さんを死な  
せた。



# どうしたらよいか(その1)



- クルマの危険性を知り、安全な行動をとる
- (将来)絶対に加害者にならない運転をする

クルマ(乗用車)が決して人を傷つけない  
速度というのは、どのくらいか？

A:時速 30キロ

B:時速 20キロ

C:時速 10キロ

D:時速 5キロ

E:時速 1キロ

(答) E (時速0.9キロ)

※ 時速30キロで走る乗用車がもつエネルギーは、  
歩行者のエネルギーの1500倍

※ 時速60キロになると、**6000倍**となる。

# どうしたらよいのか(その2)



(もっと進めて)

## ■加害者を生まない社会づくり

- 「凶器」にしない使い方: 厳罰化
- スピードをおさえること
- 子ども、お年寄り、歩行者、自転車の安全を優先した道づくり
- 被害者の視点

(カーラジオの操作による)前方不注視の重大過失で、長女を後ろからはねた加害者の刑罰は？

禁錮1年、執行猶予3年

## 裁判長の言葉

「(この判決に際して)裁判所もいろいろ考えた。ただ、やはり数秒間のほんの数秒間のちょっとした不注意であること。酒酔いとか、スピード違反とか、事後処置が悪かったとかそういうのでなく、往々にありそうな事である。被害者は家族新聞を出して成長を楽しみに見守ってきたそうだが、そうした被害者遺族の心情を考えると、被害者にとってはバランスがとれないという批判があるだろうが・・・」



殺人も交通事故死も、誰かを殺したことに変わりはないのに、こんなにも罪の重さが違うのはおかしいと思った。「少しのギセイは当たり前」と思っているような社会からこの国は変えていかなければならないのだろう。私はまだ高校生で、やりたい事もたくさんある。きっと娘さんも同じように考えていたのだと思う。すごく無念さがうかがえる。今日は本当にありがとうございました。

(2011/4/27 江別高校3年女)

# 命が大切にされる法改正を求め

## 副大臣に要望書提出



危険運転致死傷罪  
十分に適用拡大を

被害者の会が要望

北海道交通事故被害者の会は22日、アルコール・薬物の影響を受けた運転や意図的な信号無視などに限定されている、危険運転致死傷罪の適用条件を十分に拡大するよう求める要望書を法務省に提出した。

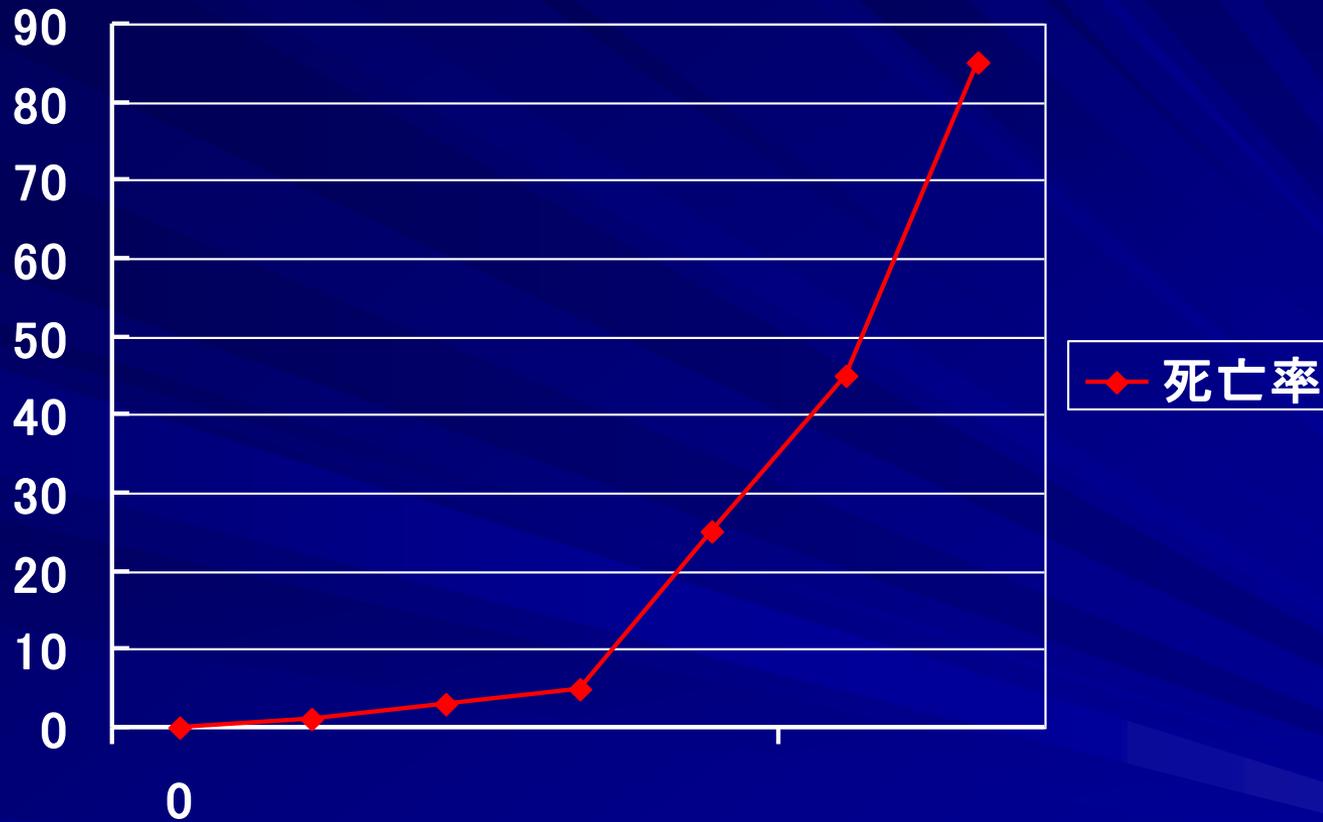
無免許運転や飲酒ひき逃げによる死亡事故でも、「故意」の立証

などが障壁となって同罪が適用されないケースがあり、滝実法相は適用条件の拡大に向け、9月の法制審議会（法制審）に刑法改正を諮問する方針。

要望書は拡大範囲について、危険な運転行為一般に広げることなどを求めた。法務省で谷博之法務副大臣に要望書を手渡した前田敏章会長によると、谷副大臣は前向きな反応だったといい、「われわれの積年の思いが実現するよう、法制審でも思いを伝えたい」とした。

北海道新聞  
2012/08/23

# 速度と死亡率



時速 30キロ・・・ 5%  
時速 40キロ・・・25%  
時速 50キロ・・・45%  
時速 60キロ・・・85%

# クルマの有用性を理性で変える

× 速く、格好良くはしるもの



○ ゆっくりだが、雨風しのいで、荷物も積んで、ドアからドアへ移動できる便利なもの。子どもや高齢者、病気の人に特に必要なもの。

問) ヨーロッパに見られる右の標識の意味は？



## 住民用街路

- ◆クルマも通れるが、住民の「遊び場」。子どもが遊んだり、住民が語り合うのを禁止しない。
- ◆クルマは、20キロ以下の低速で運転し、歩行者を危険にさらしてはならない。
- ◆道路の優先権はクルマにはない。

# ゆっくり走る 交通静穏（ベルリン）



歩道：自転車道：車道＝1：1：1  
コペンハーゲン(デンマーク)の標準市街地



# スピードや運輸に支配されない生活へ

- Fast service food
  - On demand
  - Real time
  - 大量生産、大量消費、大量廃棄
- ファーストエコノミィ      ファーストフード社会



- ◆Slow food
- ◆Slow business
- ◆Slow technology
- ◆Slow study ...

... **Slow life (スローライフ) へ**

**速度と時間を優先した(クルマに支配された)生活から、人間性を取りもどす**

# いのち 生命のトッセンジ展

等身大の人型パネルと、遺品の靴(生きた証)を展示

殺人・交通事犯・いじめなどの結果、理不尽に生命を奪われた犠牲者が主役のアート展。命の重さと、犯罪被害のない社会を訴えます。



# 生命のメッセージ展in札幌

2014年7月11・12・13日 かでのる2・7





札幌(かでの2・7)での生命(いのち)のメッセージ展  
2014年7月11・12・13日

# おわりに・・・親にとって、子は宝

皆様のご両親のことを思い浮かべて下さい

若さが、その一途さで暴発し、自分や他人を危険な状況に置きそうな時、

そのときは、もしものことがあった時のご両親と家族の嘆き、あなた方を心から大切に思ってくれている仲間の悲しみ、そして同時に相手の方にも嘆き悲しむ家族と友人がいるということを想像して下さい。

失った命は決して戻ってきません。

命はお金で代えられません。

決して相手を傷つけることなく、自身も安全な行動をして下さい。歩行中無理な横断をしたり、自転車で無茶な乗り方をしないで下さい。

そして、これからの社会を担う皆さんにお願いです  
クルマは人が作った「道具」の**はず**です。

クルマを「凶器」にせず、交通被害を絶対に生まない社会づくりをともに考え、進めましょう。

ご清聴ありがとうございました